

9月定例会運営方法変更に関する理事者アンケート集計結果

1 資料要求について

【問1】 資料要求書提出からヒアリング、要求決定まで時間を持たせたことについて	良かった 改善を要する その他（ ）	97件 4件 件
【問2】 職員の残業時間に変化はありましたか？	増えた 減った 変化無し	件 43件 56件
【問3】 要求のあった資料の作成事務と答弁調整の事務はスムーズにできましたか。	はい いいえ その他（ ）	75件 4件 16件
【問4】 さらに改善した方が良いと思われる点は？		

2 予算決算委員会各分科会について

【問1】 予算・決算審査をこれまでの特別委員会から予算決算委員会の各分科会へと変更したことで、原則1日だけの出席になったことについて		
① 一般的に時間の余裕ができたと感じましたか？	はい いいえ その他（ ）	96件 8件 1件
② 職員の残業時間に変化はありましたか？	増えた 減った 変化無し	2件 29件 70件
【問2】 分科会の答弁調整について		
① 時間に余裕ができたと感じましたか？	はい いいえ その他（ ）	76件 14件 12件
② 職員の残業時間に変化はありましたか？	増えた 減った 変化無し	3件 28件 70件
【問3】 分科会審査についてさらに改善したほうが良いと思われる点は？		

3 各常任委員会について

【問1】 同日に分科会と委員会審査を実施したことについて	良かった 改善を要する その他（ ）	95件 4件 3件
【問2】 職員の残業時間に変化はありましたか？	増えた 減った 変化無し	2件 27件 70件
【問3】 さらに改善した方が良いと思われる点は？		

4 予算決算委員会の総括質疑について

【問1】 総括質疑について、答弁調整をされた理事者に対してお伺いします		
① 分科会質疑から総括質疑までの時間に余裕があったと感じましたか？	はい いいえ その他（ ）	43件 12件 7件
② 職員の残業時間に変化はありましたか？	増えた 減った 変化無し	件 13件 46件
【問2】 さらに改善した方が良いと思われる点は？		

1 資料要求について

NO	【問2】職員の残業時間に変化はありましたか？	【問3】要求のあった資料の作成事務と答弁調整の事務はスムーズにできましたか？	【問4】さらに改善した方が良いと思われる点は？
1	資料数によって、また内容によって変わりました。	委員次第	9/11のヒアリングに時間のロスがあったように思う。5委員会の部屋を確保し、時間を設定し副市長以下関係者が移動する方が効率的だと考える。
2	資料要求がなかった。	一部の委員については前日まで時間を要した。	委員会での答弁に直接関係しない資料要求がある。答弁の調整段階でも資料の内容に関連するものがなかった)
3	資料要求締め切り時の待機時間が不要と思った	今回提出資料がなかった。	今回資料要求はありませんでしたが、他課の答弁を拝聴していると資料要求された範囲の想定質問は答弁できませんが、資料要求とかけ離れた広義的な質問も見受けられ適切な答弁ができていないことも想定されますので、出来るだけ要求委員と事前調整を行い、要求に沿った質問をして下さい。
4	資料要求の待機時間がなくなる。	時間的余裕が生じた。	質問通告があれば更に各委員と調整し易い。理事者側での調整要領日時的な事を各委員に周知していただきたい。
5	待機時間が減った。	資料、答弁が無かったため不明	質問や審議に直接関わる資料要求がされれば、さらに良いと思います。
6	減ったように思う。	資料作成及び答弁調整はなかった。	資料要求が議員によって、4～5回の変更があり、ムダな印刷がふえた。
7		資料要求 答弁調整はなかった。	資料内容の対象が、全庁か市長部局、教育、消防、水道、病院のいずれかが不明の場合がある。
8		資料要求、答弁調整は共になかった。	資料の適否、過年度の年数等を再考していただきたい。
9		資料要求にかかる答弁は無かった。	資料要求(事前)時点から資料に係る調整ができるようになり助かります
10		答弁がなかった	資料の変更をできるだけ少なめにしていれば
11		答弁調整はなかった。	閲覧されない資料が多くあるように思う。
12		無し	資料要求締め切り後の資料要求を受けるなら、要求ヒアリングまでの期間は土日を除いて4日間以上取っていただきたい。
13		要求が無かった	資料要求等はありませんでした。
14		要求のあった資料と答弁調整が必ずしも一致していないため。	資料要求に対するヒアリング時、終了した委員は退席されたが、職員は、すべての委員会ヒアリングが終わるまで残っていた。順次、職員も退席した方が良いと思う。
15		両方ともありませんでした。	資料要求の提出時間がもう少し早くなれば事務が更にスムーズとなる。
16			資料要求は、当初1回、修正1回の2回で最終としてもらいたい。
17			進行について、各委員会、分科会で必要な進行と思うが同じことを言う時間が長かったと感じた。
18			総合政策課で、資料要求の調整の都度、ポータルに貼られていたが、最終の調整が終わったのがいつかわかりにくかった。総合政策課が担う部分も説明して欲しかった。(議会と総合政策課の分担と、方法の説明)
19			提出期限内に資料要求してもらいたい。期限が過ぎれば、その分職員の残業が増える。
20			データでの提供を検討することで、紙の節減と資料保存ができる。
21			特になし
22			漠然とした資料名だけでなく、[目的]と[様式]を提示いただくことにより、どのような資料を何年度分どのように作成すべきか調整しなくとも齟齬なく確実に作成できる。(特に数課に渡る資料)
23			ヒアリング時では、新規資料要求は内容にしてもらいたい。急な資料要求は、今までの資料要求と同じである。
24			要求資料重複排除(議員同士の調整)答弁内容を想定した上での要求(答弁に使わない資料の要求は、最低限いするなど)
25			理事者、委員の入れ替えなどのシステムは改善できないでしょうか。

2 予算決算委員会各分科会について

NO	【問1】予算・決算審査をこれまでの特別委員会から予算決算委員会の各分科会へと変更したことで、原則1日だけの出席になったことについて		【問2】分科会の答弁調整について		【問3】分科会審査についてさらに改善したほうが良いと思われる点は？
	①全般的に時間の余裕ができたと感じましたか？	②職員の残業時間に変化はありました	①時間に余裕ができたと感じましたか？	②職員の残業時間に変化はありましたか？	
1	公営企業は従来から1日に変化なし	係長に指示する事項はありませんでした。	委員次第	係長に指示する事項はありませんでした。	一度通告(通知)した内容については、変更を原則禁止とすべき。
2		管理職の拘束時間が減ったことで決裁等の時間的余裕が出来た。	拘束される日が多くなったように感じる。	時間的余裕が出来た。	該当する分科会の開会日程が遅いと、委員からの質問も遅い場合があり、市側での答弁調整を図る時間が不足した。
3			答弁が無かった		議員の質問の締め切り日時をはっきりさせ、厳守させるようにしてほしい。
4			答弁が無かった		決算に関わる質疑に限定してほしい。
5			答弁が無かった。		常任委員会が1つ増えた感が否めない。以前の決算別委員会では出ないような質問内容が多くなった。質問内容を吟味する手立てが
6			答弁調整なし		資料作成は、時間の余裕ができたが、答弁調整はあまり変化なし。
7			答弁調整は委員の都合による		答弁調整した内容以外の質問があり、今後は多数の想定質問の回答を作成しなければいけないし、膨大な資料を持ち込む必要も感じた。答弁調整のルールなどを明確にしてスムーズに答弁が運べるようにしてほしい。
8			答弁無し		分科会初日に当たる各課は、調整時間が短いので厳しいと考える。したがって、年度毎に委員会の開催順に依らず輪番にしようか。
9			答弁調整はありませんでし		分科会での質疑に関して、委員会付託の案件のみに絞ってもらいたい。
10					分科会における質疑通告制があった方が良くと思われます
11					分科会の開催がいつになるかで分科会間の差があるのではないかと。
12					本会議の質問調整と分科会の質問調整期間が錯綜し、委員さんの分科会に対応する期間が必然的に本会議の質問後や分科会の直前にずれ込み、結局、調整期間の短期化になったと感じた。
13					予算決算委員会分科会は、一日だけになり理事者側の拘束期間が減少したことは画期的でありましたが、引き続き常任委員会が開催されるため、要求質疑に対し、答弁を検討しなくてはならないなど、あまり簡素化したとは言い難い。
14					質問通告があれば更に各委員と調整し易くなる。

3 各常任委員会について

NO	【問1】同日に分科会と委員会審査を実施したことについて	【問2】職員の残業時間に変化はありましたか？	【問3】さらに改善した方が良いと思われる点は？
1	お互いに慣れていない	時間に余裕ができた。	委員会での議案の無い部課の出席は無意味では
2	開催する必要はないと感じた。	質問が無かった	委員会の出席者については、議案に関連した理事者に限定すること
3	議案数が少なかった		委員構成が同じであるなら、一括開催とはできないのか。
4			該当する委員会と分科会が1日で終了することは、理事者側には負担が減ったが、審査内容(案件)が少ない場合の日程の取り方については検討が必要。
5			議案内容に直接関連しない質問はない方が良い。
6			議会中に常任委員会が開催される意味がわからない。質問の範囲もあいまいで通常の常任委員会と何が異なるのか、はっきりすべき。
7			午後から分科会、常任委員会を行う。
8			事前通告や答弁調整は必要だと思います。(いくら議案の内容が限られているとはいえ、極端に詳細な内容や範囲を拡大した質問には、回答しにくいと思います。)
9			質問通告の意思表示が欲しい。
10			常任委員会における質疑通告制があった方が良いと思われ
11			常任委員会に関係部署の議案審議をされることは、常とう的だと思わますが、分科会と常任委員会との質疑及び答弁が煩雑化し戸惑った。
12			常任委員会に付託された案件について、出席者を絞り込んでいただくことも可能かと思われ
13			常任委員会に付託された案件の中で、予算決算委員会分科会で審議されてもいい案件があったと思われ
14			定例会閉会中の常任委員会と同様の質問があり困惑した。提出案件に関するものに厳しく取決めしてほしい。
15			答弁調整
16			付託議案のない部局の出席は求めないよう検討をお願いします。
17			付託された議案のみ審議すると理解しているが、それを拡大解釈して質問された。
18			付託されている案件に直接関係のない部署の職員の出席について、検討していただきたい。
19			分科会と委員会の違いが市民に伝わるような運営をお願いしたい。
20			分科会同様委員会開催日は、いつかで答弁調整等の時間的余裕は異なる。

4 予算決算委員会の総括質疑について

NO	【問1】総括質疑について、答弁調整を①分科会質疑から総括質疑までの時間に余裕があったと感じましたか？	②職員の残業時間に変化はありましたか？	【問2】総括質疑についてさらに改善した方が良いと思われる点は？
1	委員により調整に時間がかかった。	係長に指示する事項がなかった。	総括質疑通告締め切りから総括総括質疑までの時間的余裕がもう少しあれば良いと思われ
2	最終の分科会所管に属する法は時間には厳しいと思われ		分科会と総括質疑の間の余裕をもう1日くらいあれば。
3	質疑無し		本会議における市長質疑の延長のようになっているので廃止を検討すべき。
4			分科会の日程が後の場合、分科会での答弁により、質問を通過することとなり調整時間が短い(従前とあまり変わらない)
5			一度通告した内容については、変更を原則禁止とすべき。

NO	その他ご意見
1	1年を通じて議会対応に取られる時間が多くなったので、年4回の常任委員会の回数を減らしてもらいたい。
2	3・6・9・12定例会と2・5・8・11月の常任委員会と理事者・議員を含め、気の休まる時間がなく、精神的に疲労が蓄積される思いがあります。(私の資質、能力不足は否めない) 理事者側の答弁調整においても、修正、削除、加筆等で毎度議員と再調整しなければならない事が、当たり前となっている。この事が精神的につらい部分です。
3	あらゆる議案・予算案を委員会に審査を付託するのであるから、本会議の質問時間はその分短くすべし。
4	開会から閉会までの会期が今回の改革により長くなりましたが、審議の内容が合理的で充実しているので問題はないかと思っています
5	会期が長くなったことにより、出席委員会、分科会は、1日だけの出席で時間的余裕ができたものの実質的な拘束時間(期間)は長くなりました。
6	議会運営については、議会側と理事者側が協力して行われるものであり、今回の改善は、素晴らしいものと思います。ただ、両者の中にはルールがあると思います。例外を認めない形での運営を望みます。
7	議会制度改革の取り組みがまだ多数の議員に浸透していないので、こちらの思いと各議員の考えがまだ一致しないところがある。
8	今回から新たな取り組みとして、積極的に実施された各委員の方に敬意を表します。ただ、日程が延びるなど、課題はあると思いますが、市民生活向上のために、今後、奈良市議会が益々発展するよう、我々職員も尽力する所存です。
9	今回始めてだったので予算決算委員会と常任委員会との同時開催のやり方に戸惑いは感じたが、今後慣れればスムーズに運ぶと思う。
10	時間的余裕が出た分、日が長くなり、あまり議会改革になっていないように感じた。
11	資料要求段階で調整が可能となったことから、時間的に余裕が出来、課内の仕事もこなせることが出来た。
12	資料要求の伴わない答弁調整があった場合は、そのタイミングや調整が難しいと思われる。
13	資料要求まで時間ができたことで、「資料を作成して下さい」と言われるのでは？又、当日追加で要求されたので、これなら同じかなと感じました。
14	資料要求や質疑締め切り後の要求や調整するための連絡がつかない等、議員の協力やルールの周知がされてくことで職員のメリットも明確になり、議論が深められると思います。
15	前日の答弁調整になった委員もおられ期日を守ってほしい。
16	全体として時間の余裕があり、よかったですと思います。
17	当然であるが、議会日程が長くなるため、年間を通じて対応時間が増す結果となる。今後、常任委員会とのバランスを図ってもらいたい。
18	ネット中継で他の委員会を見ることができ良かったと思う。 今回初めてだったので戸惑うところもありました。
19	年間の定例会日程を当初に予定して頂きたい。
20	本会議、委員会の開会が時間通りに行われたことについては、改めて感謝いたします
21	予算決算委員会各分科会が1日となったことで仕事にも余裕ができて良かった。
22	予算決算委員会が分科会方式であったため、同総括の質疑の内容があまり理解できなかった。(自分の分科会を除く)
23	予算決算委員会については、出席日数が1日に減り、他の公務ができることと、以前であれば5日間出席し、無駄に時間を費やしたと思い、今回の実施方法は大変良いと感じます。
24	理事者側では今回の運営手順の改善により大変負担が軽減したと実感できた。一方、委員の方々には、資料要求や質問通告の締め切り後にも追加や変更等があるなど、その周知が不十分であったのではないかと感じた。
25	委員の質問内容がある特定の項目に集中する傾向にあったが、多数の項目に分散する必要もあるのでは
26	議会制度の変更については、職員だけでなく市民も合同の説明会をお願いしたい。議会について市民アンケートを行っていたが、今回の制度変更のどこにアンケート結果がいかにされているのかをしっかりと説明した方がよいと思う。本アンケートの結果についても、公表してほしい。

※理事者アンケート実施要領

期間：平成24年10月4日～15日

対象：平成23年9月の決算特別委員会出席理事者で平成24年9月の予算決算委員会に出席した理事者

送付数：107

回答数：107